

## 第 10 節 水生生物

### 第 1 項 特筆すべき水生生物

#### 1 - 1 調査年月日及び調査内容

調査年月日及び調査内容は表 3 - 10 - 1 に示したとおりである。

表 3 - 10 - 1 調査年月日及び調査内容

調査対象種	調査年月日	調査内容
ヒラマキミズマイマイ ヒラマキガイモドキ ナガオカモノアラガイ マシジミ ドブシジミ コオイムシ	平成 23 年 8 月 2 日	生息確認調査

#### 1 - 2 調査場所

調査は評価書の調査で実施した天白川の調査地点で実施した。

調査地点は図 3 - 10 - 1 に示したとおりである。

#### 1 - 3 調査方法

調査は調査地点周辺を任意に踏査する任意観察により行い、対象種の確認に努めた。

#### 1 - 4 調査結果

調査の結果、マシジミが調査地点として設定した 7 地点の全地点で確認した。ナガオカモノアラガイは St.5、St.7 の 2 地点で、ドブシジミは St.4～7 の 4 地点で確認した。

確認地点は図 3 - 10 - 2 に示したとおりである。

#### 1 - 5 まとめ

調査の結果、調査対象とした 6 種（ヒラマキミズマイマイ、マシジミ、コオイムシ等）のうち、ナガオカモノアラガイ、マシジミ、ドブシジミの 3 種の生息を確認した。

今後、最終処分場建設工事の進捗を受けて、当該工事区域近辺の生息個体は天白川水域を下流側へと生息地を移動する等して当該地域周辺では見られなくなる可能性はあるが、下流側の環境は現況調査当時と比べて大きな変化はみられないことから、今後も生息環境が維持されるものと考えられる。

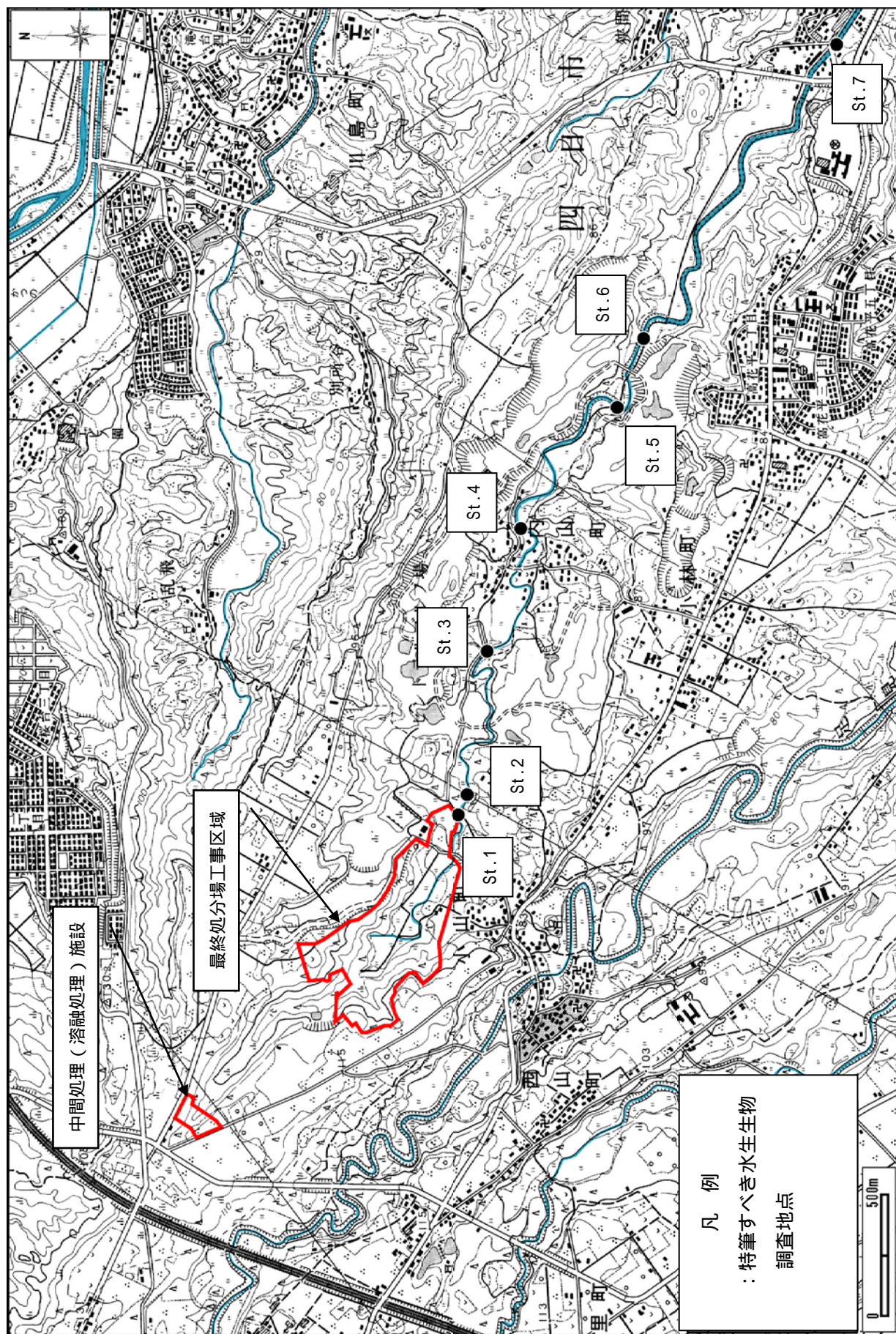


図 3 - 10 - 1 特筆すべき水生生物調査地点



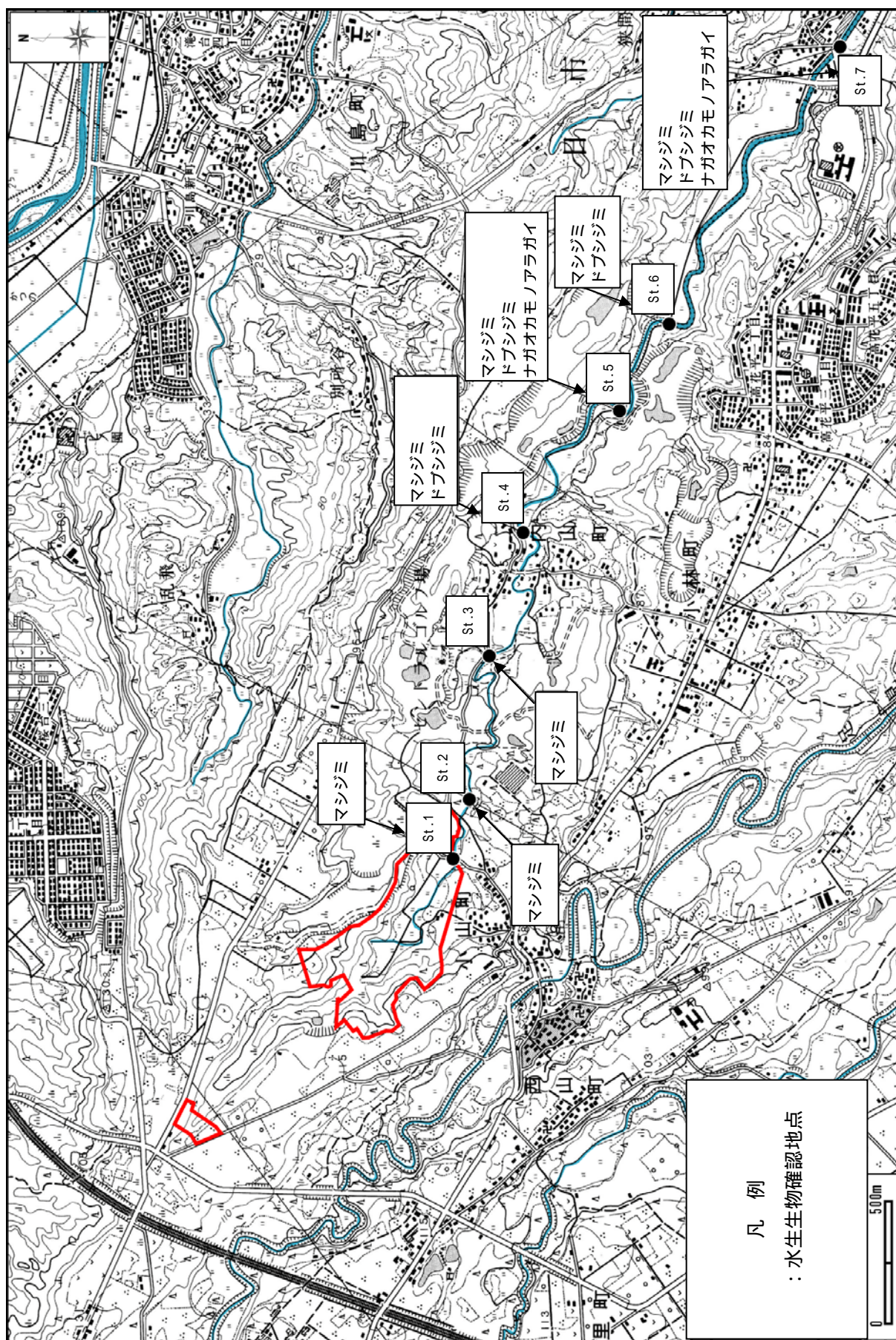


図 3 - 10 - 2 特筆すべき水生生物確認位置

## 第2項 淡水魚類

### 2 - 1 調査年月日及び調査内容

調査年月日及び調査内容は表3 - 10 - 2に示したとおりである。

表3 - 10 - 2 調査年月日及び調査内容

調査時季	調査年月日	調査内容
春 季	平成 23 年 5 月 17 日	捕獲調査、目視観察調査、 任意調査
夏 季	平成 23 年 8 月 2 日	
秋 季	平成 23 年 11 月 1 日	
冬 季	平成 24 年 2 月 10 日	

### 2 - 2 調査地点

調査は図3 - 10 - 3に示した3地点（P.1、P.2、P.3）で実施した。

### 2 - 3 調査方法

#### 2 - 3 - 1 捕獲調査

調査地点にカゴ網、セルビン各2個を設置して採集し、生息種の捕獲・確認を行った。  
カゴ網、セルビンは1時間設置し、餌として市販の練餌及びサナギ粉を用いた。

#### 2 - 3 - 2 目視観察調査

岸边や橋上から目視により観察を行い、生息種の確認を行った。

#### 2 - 3 - 3 任意調査

上記の調査方法に加えて、調査地点周辺を、タモ網を用いて任意に採集し生息種の確認をする任意調査も実施した。



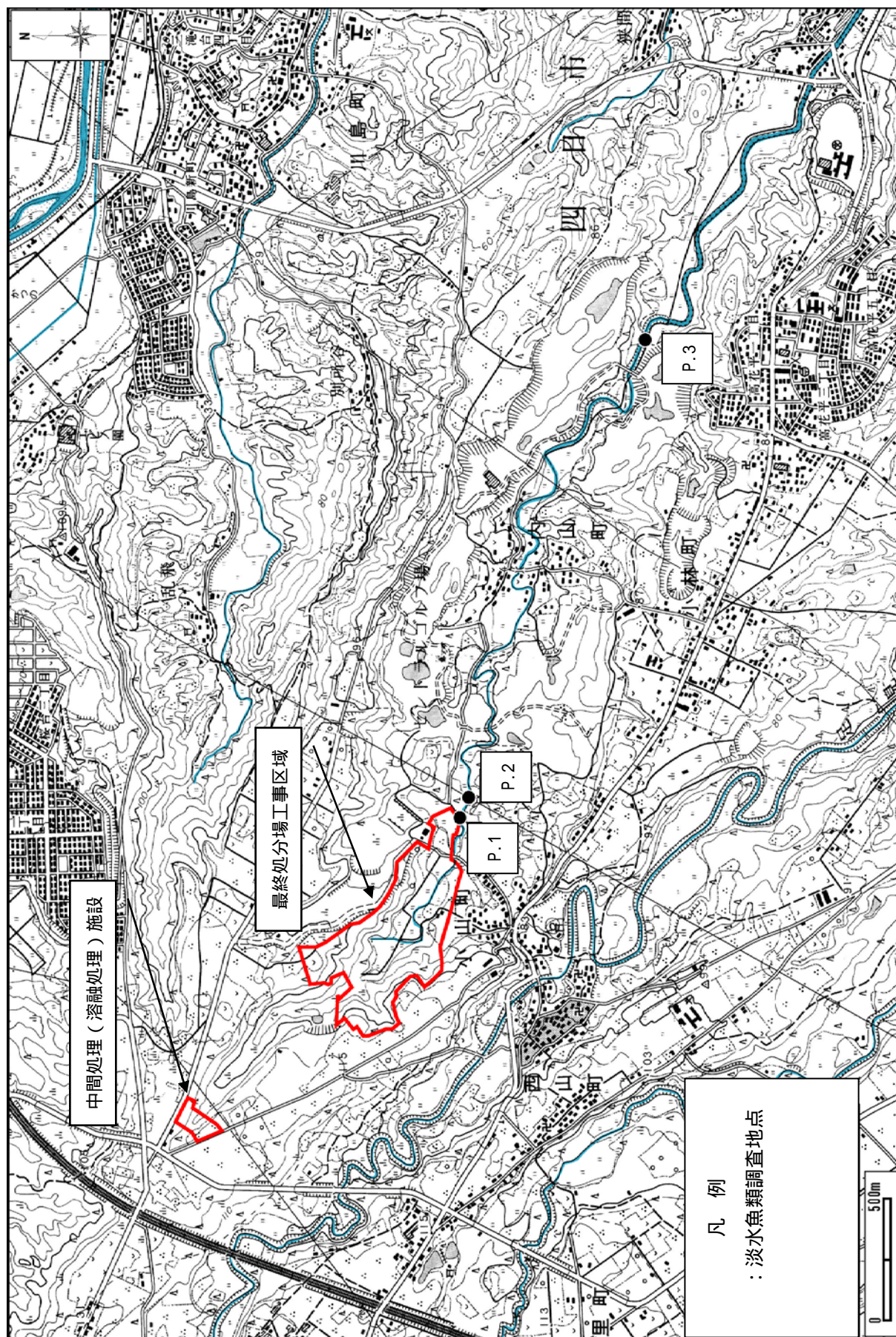


図 3 - 10 - 3 淡水魚類調査地点

## 2 - 4 調査結果

### 2 - 4 - 1 捕獲調査・任意調査結果

カゴ網、セルピンによる捕獲調査およびタモ網による任意調査により、表 3 - 10 - 3 に示したとおりオイカワ、カワムツ、タモロコ、モツゴ、ドジョウ、カワヨシノボリの 6 種の淡水魚類を確認した。

カゴ網による調査では、春季は P.1 でオイカワ、カワムツ、カワヨシノボリの 3 種を、夏季は P.1 でカワムツ 1 種を、P.2 でオイカワ 1 種を、秋季は P.1 でオイカワ 1 種を、P.2 でオイカワ、タモロコの 2 種を、冬季は P.3 でオイカワ 1 種を捕獲した。

セルピンによる調査では、春季・夏季はそれぞれ P.2 でカワムツ 1 種を、秋季 P.1、P.2 でそれぞれオイカワ 1 種を、冬季は P.3 でオイカワ 1 種を捕獲した。

タモ網による任意調査では、カワヨシノボリが各調査時季の各地点で確認されており、本川に広く生息しているものと考えられる。

オイカワは冬季の P.1、P.2 を除き、各調査時季の各地点で、カワムツは春季の P.2、P.3 と夏季の全地点および冬季の P.3 で確認されている。オイカワ、カワムツの 2 種は季節による活動能力の変化も考えられるが、概ね P.1 から P.3 までの広い範囲において生息しているものと考えられる。

その他、モツゴ、タモロコは P.3 で、ドジョウは P.1 で確認した。

表 3 - 10 - 3 (1) 魚類捕獲調査結果

調査方法	種 名	春季(H23.5.17)			夏季(H23.8.2)			
		調査地点						
		P.1	P.2	P.3	P.1	P.2	P.3	
カゴ網	オイカワ	14	捕獲なし				1	捕獲なし
	カワムツ	12				7		
	カワヨシノボリ	1						
	種 数	3				1	1	
	個体数	27				7	1	
セルピン	カワムツ	捕獲なし	4	捕獲なし	捕獲なし	2	捕獲なし	
	種 数		1			1		
	個体数		4			2		
タモ網	オイカワ							
	カワムツ							
	タモロコ							
	カワヨシノボリ							
	種 数	2	3	3	3	3	4	

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

表 3 - 10 - 3 (2) 魚類捕獲調査結果

調査方法	種 名	秋季(H23.11.1)			冬季(H24.2.10)		
		調査地点					
		P.1	P.2	P.3	P.1	P.2	P.3
カゴ網	オイカワ	2	4	捕獲なし	捕獲なし		1
	タモロコ		1				
	種 数	1	2				1
	個体数	2	5				1
セルビン	オイカワ	2	3	捕獲なし	捕獲なし		22
	種 数	1	1				1
	個体数	2	3				1
タモ網	オイカワ						
	カワムツ						
	モツゴ						
	タモロコ						
	ドジョウ						
	カワヨシノボリ						
	種 数	3	2	4	1	1	4

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

#### 2 - 4 - 2 目視観察調査結果

各季に実施した調査では、各地点とも魚影を確認することはできなかった。

## 2 - 5 まとめ

調査の結果、表 3 - 10 - 4 に示したとおり、2 目 3 科 6 種の淡水魚類を確認した。

季節別では秋季が 5 種と最も多く、地点別では、P.1 が 4 種、P.2 が 3 種、P.3 が 5 種であった。

表 3 - 10 - 4 魚類捕獲調査結果（確認種）

目 名	科 名	種 名	調査時季				調査地点		
			春季	夏季	秋季	冬季	P.1	P.2	P.3
コイ	コイ	オイカワ							
		カワムツ							
		モツゴ							
		タモロコ							
	ドジョウ	ドジョウ							
スズキ	ハゼ	カワヨシノボリ							
2 目 3 科 6 種		種数	3	4	5	4	4	3	5

また、今回の調査結果を、表 3 - 10 - 5 に示した昨年度（平成 22 年度）の調査結果と比べてみると、季節別・地点別とも、昨年度よりやや少ない結果であった。

確認種は昨年度の夏季にコイを確認した以外は同じであり、当該水域に生息する魚類相に大きな変化はみられなかった。

表 3 - 10 - 5 魚類捕獲調査結果（確認種：平成 22 年度の調査）

目 名	科 名	種 名	調査時季				調査地点		
			春季	夏季	秋季	冬季	P.1	P.2	P.3
コイ	コイ	コイ							
		オイカワ							
		カワムツ							
		モツゴ							
		タモロコ							
	ドジョウ	ドジョウ							
スズキ	ハゼ	カワヨシノボリ							
2 目 3 科 7 種		種数	3	5	4	4	5	5	6